

佐治フィールド研修

7月26日(火)～7月27日(水)、「佐治川流域の水環境と地域づくり」をテーマに、佐治フィールド研修を行いました。テーマとする調査研究を通じて、歴史的な問題への対処の経過や、未来志向の問題解決を考察することによって、科学的教養を身につける機会とするものです。佐治谷の水環境と地域づくりについて科学的に正しく理解するとともに、水環境と社会、環境の関係性を考えました。また、研修最終日には、研修内容をまとめて報告を行いました。各報告に対して、行政担当者の方から講評をいただきました。



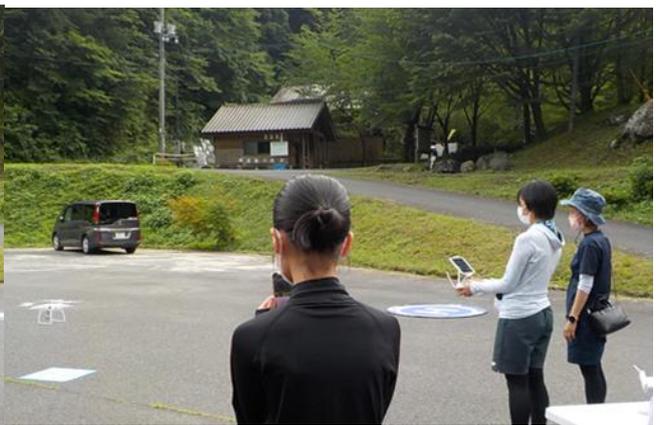
「佐治漆の現在と未来」



「漆の活用体験・漆畑見学」



「ドローン配送実験」



「ドローン体験」



「シャワークライミング」



「水力発電の原理体験」



「地域資源を活用した持続可能性向上の取組」
「コミュニティ交通・高齢者見守り・買い物支援事業」

○生徒の感想

・過疎、高齢化などの問題に対して、買い物支援や見守り支援をされていて地域力がとても強いと感じました。私は八頭町の私都谷の方に住んでいて同じように田舎で、子供もどんどん減っているけれど、具体的にどのような問題を抱えていてそれに取り組んでいるかは正直分からないので調べてみたいと思いました。

リバーウォーキングは難しくもあって怖いと思う時もあったけれど、水に浮いて空を見るとすごく綺麗で癒されました。観光資源としてとても活用できるのだと実感したし、多くの人にこの感動を味わってもらいたいと強く思いました。漆の講義では詳しく説明してくださって、見学もさせていただいてイメージが湧きやすかったです。あと何年か経って漆の液がもっと取れるようになれば体験などぜひ参加したいです。2日間を通して貴重な体験をありがとうございました。

・滝や川などの観光資源を有効活用して、小水力発電をし、滝や川などを利用したシャワーライミングなどを行っていたので、身の回りには自然が経済に関係していることを改めて感じました。

さらに、佐治では高齢化が進む中で、高齢者の買い物や介護に工夫がなされていることや、ドローンを使った配送技術など地域が豊かになるように工夫がなされていると感じました。これからは、都会に出ることだけでなく、地域に貢献することも大切にしたいです。